

2 中高連携授業変革の歩み

(2) 岐阜県立各務原高等学校における実践

<授業実践>

(1) 授業実践に向けて

- a. 英語 や英語 、リーディングなどの読解中心の授業において、左から右へと英語の語順に逆らわずに直読直解させるにはどうしたらいいのか、英語の基礎・基本をどのように定着させるのか、授業の在り方を考え、指導方法の工夫・改善を目指す。
- b. 「コンピュータ・LL」が導入されようとしている現在、コンピュータを使った授業の在り方とその問題点を意識して指導方法を考える。併せて「LL演習」の授業の在り方を考える。

(2) 第1回授業交流研究会

日時：平成14年6月26日(水) 第5限

公開授業：2年1組(文系クラス) 英語

長良中学より4名の先生が訪問。

<授業研究会> 以下に主な発言を記す。

(中) 正確さが強調されている授業で、中学側に欠けている点を自覚させられた。

(中) 英文の読み取りを細かな点から行なう必要性を感じた。

(中) 大学入試と、オーラルコミュニケーションやコミュニケーションが強調されている現状の中で困るような場面はあるのか。両者の関係はどうなっているのか。

(高) 大学入試問題は長文の内容理解問題が多い。センター試験でも会話表現の問題が出てくるが、これらも文法問題の変形と言える。

(中) 今日の授業で使われていた記号付けプリントで、予習の定着率は上がっているのか。中学でも家庭学習の時間が少なくて困っているという実態がある。

(授業者) あのようなプリントがあると、生徒が予習に取り組む率は高くなるようだ。予習の不十分な生徒も最低限の訳を書き写すことができ、その点はよいと思っている。

(中) 中学では極力、文法用語は使わないようにしているが、高校現場ではそういったことは困ることなのか。

(高) 高校1年の時点で、文法は一通り授業でも扱うので、困るということはない。しかし、疑問に思うことは、全く文法的概念がないところで、例えば受身形などは中学ではどのように説明しているのか。

(中) be surprised at や be pleased with などは慣用表現として暗記させている。一般的な受動態は、能動態から受動態を図式化して説明をしている。

(高) 高校入試でもヒアリング問題が一定の割合を占めているが、中学側から見て妥当な出題と言えるのか。

(中) かなり英文が長いとは感じているが・・・。

(高) 中学の場合、わずか3時間で、読み書き聞き話す領域をカバーしなければならないので、かなりたいへんなのではないのかと想像している。高校の場合、週5時間から6時間の英語の授業があり、それぞれの領域が別個で授業が行なわれており、1つの授業ですべてをやる必要がないので、ある程度割り切って授業をやっていけるのが、利点である。

(3) 第2回授業交流研究会

日時：平成14年11月19日(火) 第6限

公開授業：1年8組英語科 第6限

学校支援課より2名、長良中より4名の先生が訪問。

<授業研究会>以下に主な発言を記す。

(中)各務原高校では、卒業までに、英語の到達目標をどこにおいているのか。2年生のカナダ研修に向けて、英語の授業で何か特別なことをしているのか。

(高)特にはしていないが、オーラル関係の授業は普通科よりも多いので、生徒が授業をしっかりやれば、それなりの効果はある。

(授業者)全体への指導と個別への指導の両面から指導したいと思った。生徒には長い文で答えさせて自己表現につながるようにして、先生が言う英文に最大の注意を向けさせたいと思った。

(中)ALTがしたQuestionまでリピートさせていたが、よいことだと思った。

(中)授業の評価はどうしているのか。

(高)プリントに書かせるなどして提出させ、チェックしている。

(支援課)評価の問題は、中学は進んでいるが、高校ではまだまだ十分ではないので、研究してほしい。このことに関し、資料も用意したので参考にしてほしい。

(高)この「LL演習」はこれから「コンピュータ・LL」という授業に変わるようになっていく。そのため、会話ソフトを使って授業をやり出したが、問題点も多い。40台のコンピュータを同時に使用すると、時に不具合が生じ、何人かの生徒から同時に助けを求められることがあった。これに1人の教師のみで対処するには、大変な状態であったので、今年度は2人で対処している。

(支援課)授業だけでなく、放課後に希望者に会話ソフトを使わせる方法もあるのではないのか。2名の教諭がいるのなら、分割して授業をやる方法もあるのではないのか。

(高)英会話ソフトを使う時、教師側がどのように教材に関わって授業の中で扱っていくのか、現在のところ確立されていない。

(高)夏休み前までは、コンピュータを使わず、純粋なテキストを使ってのチームティーチングを行っていた。その時のほうが授業は、やりやすかった。

<グローバルスタンダードによる英語力診断>

TOEFL-ITPの受験

日時：平成14年11月6日(水)

受験者：2年英語科38名

- ・問題すべてが英語で書いてあったので、添付されていた模擬問題を使って事前指導を2時間行なった。
- ・受験カードまでがすべて英語での記入だったので、生徒にとっては驚きだったようであった。

<イマージョンプログラム>

(1) 外部講師(マーク・ラングフォード<ニュージーランド>とカー・バーナデット<豪州>)

英語科特別講座(対象：1,2年英語科78名)

テーマ：オーストラリアとニュージーランドの生活文化を知る。

日時：平成15年1月15日(水)

- ・上記テーマで2名の外部講師に1時間半程度の講演を英語でもらった。ビデオなどの視聴覚機器も使って、単に一方的な講義だけでなくゲームも取り入れており、やさしい英語で創意工夫した

内容で、生徒にも好評であった。(生徒の英語で書いた感想の一部を資料として下段に掲げた。)

英会話レッスンの実施

10月より2月まで、2年英語科の生徒を対象に英会話レッスンを24時間程度実施した。

(2) 英文図書や視聴覚教材の活用

予算の枠内で、英会話CDなどを購入した。

<成果>

- ・生徒が活発に活動する中学の授業に感銘を受け、高校側でもこのような方式を出来るだけ取入れようという認識が教師の中に生まれた。イメージングゲームやポスターセッションなど長良中で行われているオーラルの言語活動は、少し変形をさせれば高校でも応用できることが分かった。
- ・英文を左から右へ語順に逆らわず意味を理解していく読解方法についての研究が、今回のプロジェクトを通じて深まった。これは、ヒアリングやスピーキングにも直接つながっていることが明らかになった。生徒たちの予習の定着度も着実に向上している。

<課題>

- ・コミュニケーション能力の育成を目指す中で、読み書きの部分の授業をどう捉えていくのか、さらに英語科における「総合英語」「外国事情」「英語表現」「時事コミュニケーション」「LL 演習」の各科目でどのような点を強調する授業にするのかの位置付けを明確にする。
- ・コミュニケーション能力の育成を図るために「評価規準」をどのように設定するのか研究を深める。

(資料 英語科特別講座の生徒の感想)

I studied Australia and New Zealand culture. It was wonderful. I had a very good time! "Haka" is very interesting for me. It's fun. I'd like to dance again. And I'd like to visit New Zealand. Thank you. (2年生男子生徒)

I could study about culture, for example, food, sports, animals and natives. Your class was so exciting that I was very happy. I thought foreign countries were very interesting. Thank you very much. (1年生女子生徒)

I learned about Australia and New Zealand. I was glad to learn about two countries with three teachers. I also enjoyed playing the game. We were the "small koala" team. Our team lost but we enjoyed trying. I have been to Australia two times but I have never been to New Zealand. I want to go to New Zealand some day. I had a very good time. Thank you very much. (1年生女子生徒)

I had so much fun today. Thank you very much!! Especially the quiz was very interesting. You showed me a lot of things that I didn't know. You spoke slowly, so I could understand very much. When I watched the video, I felt that I'd like to go to Australia and New Zealand. Thanks a lot.

(2年生女子)